

未来の教育もりやビジョン

- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心を育む教育の推進
- 3 健康と体力を育む教育の推進
- 4 地域とともにある学校づくり



目指す学校像

- 夢のある楽しい学校 ○きれいな学校
- 信頼される学校 ○活力のある学校

学校経営の方針

- ◎児童の「継続的な幸せ（ウェルビーイング）」を目指す。
- ◎「学力向上」と「いじめ対応」を「黒内型ニューノーマル（黒内型学校教育）」へ位置付け、実効性のある取組として推進する。
- ◎児童企画・参加型のプロジェクト活動を積極的に推奨する。
- ◎児童の頑張りや教職員の工夫を可視化し、それに係る情報発信や広報を積極的に行う。
- ◎保護者との協働による「黒内型ニューノーマル（黒内型学校教育）」の充実を図り、過大規模校の強みとする。

令和7年度 守谷市立黒内小学校グランドデザイン

守谷市教育目標 「新しい時代をたくましく生きぬく人づくり」を目指して

守谷中学校区9年間で目指す児童・生徒像

- <知>自ら学ぶ子 自ら学び、よく考え、主体的に行動できる子
- <徳>思いやりのある子 人間性豊かで思いやりがあり、助け合える子
- <体>たくましい子 心身ともにたくましく、最後までやり抜く子



校訓

「清く・正しく・美しく」

教育目標

豊かな心を持ち、自ら行動できる子の育成
～学力の向上・豊かな心の育成・健康な体の育成～

今年度の重点目標～もりやの学校のニューノーマルを基盤として～

- 「なぜ？」を「分かった！」につなげる「わくわくする授業」を展開する。
- 「いじめ防止プログラム」を実施して、心理的安全性の高い学年・学級集団をつくる。
- 黒内型 GIGA スクール構想を深化・発展させ、デジタル・シティズンシップ教育を充実させる。
- 教育相談体制の充実やフリースペース「スマイルルーム」の設置で心の居場所をつくる。
- 過大規模校における週日課編成（黒内型カリキュラム・マネジメント）や行事運営を工夫する。

今年度の組織目標

守谷中学校区の目標

個性を伸ばし、豊かな人間性のある児童生徒の育成

目指す教師像

- 分かる授業を工夫する教師
- 繰り返し丁寧に児童に関わる教師
- ほめて、認めて、やる気をもたせる教師
- 目を掛け、手を掛け、心を掛ける教師
- 温かく、厳しく、児童に寄り添える教師

今年度の守谷中学校区一貫教育重点目標

- 【学習】
- つながりを生かして、自ら学び、判断し、表現する児童生徒の育成～ニューノーマルを踏まえた、主体的・対話的で深い学びを通して～
- 守谷中学校区授業メソッドの推進
- 【生活】
- 「みそあじ運動」の展開

今年度の研究テーマ

主体的に学び「なぜ」を「分かった」につなげる探究的な学びの在り方
～単元構想を軸とした「課題提示」と「まとめ」の工夫を通して～

1【学力向上】自ら課題を設定し、他者と協働しながら粘り強く課題解決に取り組める児童の育成 2【いじめ防止】人と関わることを喜び、役に立てることを嬉しいと感じる児童の育成

確かな学力の育成

- ①「なぜ」を「分かった」につなげる「わくわくする授業」を展開する。
- ②「家庭学習のてびき」を活用し、主体的な学びを進めるため自主学習の習慣化を図る。
- ③基礎学力の確かな育成と主体的な学びの推進を図る。
- ④ICT 活用の充実を図ると共にデジタル・シティズンシップ教育を推進する。
- ⑤英語活動、外国語活動、外国語科の充実を図り、英語に慣れ親しみ活用してコミュニケーションを楽しむことができる児童を育てる。

<具体的な目標>

- ・学力診断テストにおける平均正答率の向上
- ・「授業が楽しい」と感じる児童 90%以上
- ・1年～3年 年間 50冊以上を 90%以上
- ・4年～6年 年間 50冊以上を 85%以上 300冊以上を 10%
- ・1人1台の iPad (MetaMoji アプリ、eラーニング) 活用による授業や自主学習の推進
- ・スタディタイムによる校内での基礎学力の定着
- ・ドリル的宿題の廃止による家庭での自主学習と学びの質の確保 (学年×10分+10分)
- ・AI パフォーマンステスト (英語科) において1回目から2回目で+5%以上
- ・EnglishDAY の設定による英語活動の推進 (週1回)

健康と体力を育む教育の推進

- ①ニューノーマルを踏まえ、行事運営、週時程や日課の工夫を図る。
- ②ニューノーマルを踏まえ、体育の授業を通して体力の向上に努める。
- ③楽しくマナーを守った食に関する指導の充実、望ましい食習慣の啓発に努める。
- ④児童・職員による AED 研修、薬物乱用防止教室、性に関する指導の充実を図る。
- ⑤感染症に関する正しい知識の指導の充実を図る。
- ⑥安全指導・保健指導、健康指導の充実を図る。

<具体的な目標>

- ・児童の安全を確保する時差登校、時差休み時間、時差清掃の完全実施
- ・朝食を食べる児童 100%
- ・感染症に関して正しい知識を身に付け、場に応じた行動がとれる児童 100%

地域とともにある学校づくり

- ①安全・安心な学校づくりの徹底
- ②スクリレ、ポータルサイト、Classroom、HP 等による適切な情報発信により、開かれた学校づくりを推進する。
- ③スクールボランティア、PTA 黒サポ等の外部人材を積極的に活用する。
- ④小中一貫きらめきプロジェクトの推進

<具体的な目標>

- ・避難訓練実施 (地震火災対応、不審者対応、小中連携)
- ・GoogleWorkspace、Classroom、スクリレ保護者の活用率 100%
- ・HP アクセス数 一日 200 件以上
- ・黒サポの学級活用 2 回以上/年、学校活用 5 回以上/月
- ・Web システム活用による校区小中、小小連携 (3 回以上/年)

豊かな心を育む教育の推進

- ①児童が「自分の学級が好き」といえる学級経営を進める。
- ②元気にあいさつし、進んで掃除に取り組む児童を育てる。
- ③特別支援教育や生徒指導体制の充実を図る。
- ④「いじめ防止プログラム」を実施して心理的安全性の高い学年・学級集団をつくる。
- ⑤休み時間に体育館を開放しての体力向上及びコミュニケーション力の向上を図る。
- ⑥相談体制の充実や校内フリースペース「スマイルルーム」活用による心の居場所づくりをする。

<具体的な目標>

- ・i-check における「学級満足度」 80%以上
- ・「あいさつ運動」「ノーチャイム行動」「清潔な身だしなみ」の推進と日常化 (あじみそ徹底率 90%以上)
- ・読み書きスクリーニング、いじめ対策会議の確実な実施 100%
- ・「いじめ防止プログラム」を受けた「いじめ防止授業」の実施 100%
- ・体力とコミュニケーション能力の向上を図る休み時間における体育館の開放 (常時)
- ・守谷中学校区きらめきフォーラム、あいさつ運動の実施 (年間 1 回以上)

コンプライアンス宣言 私たち黒内小学校教職員は、「ウェルビーイング」を合い言葉に、自己研鑽と修養に努め、安心安全な学校をつくりまします。